

大使館情報

2021年11月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会
- (2) DEM と PSL の合併
- (3) ボルソナーロ大統領による連邦警察に対する干渉疑惑
- (4) 新社会保障政策「アウシリオ・ブラジル」の発表
- (5) 「国家グリーン成長プログラム」の発表

[外交]

- (1) カフィエロ亜外相の訪伯
- (2) 伯コロンビア首脳会談
- (3) ボルソナーロ大統領の G20 ローマ・サミット出席

3. トピックス

- (1) 山田大使の将棋イベント出席
- (2) 濱田総領事の着任（在クリチバ総領事館）
- (3) 高拓生アマゾン入植 90 周年（在マナウス総領事館）
- (4) 橋場総領事のアスー港・カンポス市訪問（在リオデジャネイロ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（10月発表の経済指標）

(ア) 8月の鉱工業生産指数は前月比▲0.7%、前年同月比でも▲0.7%となった。

(イ) 8月の小売売上高は前月比▲3.1%、前年同月比+4.1%となった。

(ウ) 9月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+1.16%となり、前月（0.87%）から上昇幅は0.29%ポイント拡大、9月単月としては1994年9月（前月比+1.53%）以降で最大の上昇率。直近12カ月累計は+10.25%となり、前月（同+9.68%）から上昇幅は0.57%ポイント拡大。

(エ) 全国の失業率（2021年6～8月）は13.2%となり、3か月前（3～5月）の移動平均14.6%から1.4%ポイント低下した。また前年同期比（2020年6～8月：14.4%）では1.2%ポイント低下した。

(オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、10月29日時点で、GDP成長率予測については、2021年は4.94%（前週から0.03%ポイント低下）で、2022年は1.20%（前週から0.2%ポイント低下）となった。インフレ率については、2021年は9.17%（前週から0.21%ポイント上昇）で、2022年は4.55%（前週から0.15%ポイント上昇）となった。

(2) 経済政策等

(ア) 10月14日、高騰する燃料価格に対処するための、燃料に係るICMS（商品流通サービス税、州税）の変更法案が下院で承認。税額を算出する際に過去2年間のガソリン小売り価格の平均を基準にすることで、価格の引下げを図るもの。また、これと並行し、10月29日、全国の州及び連邦区の財政担当で構成される審議会（Conselho Nacional de Política Fazendária、Confaz）において、11月1日からの90日間、ICMSを凍結することを承認した。

(イ) 10月20日、政府は新たな社会保障制度アウシリオ・ブラジル（Auxílio Brasil）における給付金の支給を、1,700万世帯を対象に本年11月から開始し、同12月から2022年末までは最低400レアル支給すると発表。

(3) 金融政策

10月26及び27日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は、政策金利であるSelic金利を150bp引き上げ7.75%とすることを決定した。

政策金利の引上げは6会合連続（3、5、6、8、9、10月）。次回会合は12月7及び8日に開催予定。

（４）為替市場

（ア）10月の為替市場は5.36～5.66 レアル/ドルで推移。

（イ）月の前半は5.36～5.54 レアル/ドルで推移。エネルギー価格の上昇等を背景としたインフレ継続懸念や、米国の金融緩和縮小が年内にも着手される可能性が高まったことからレアル安傾向となる中、伯中銀によるドルスワップオペレーションの実施でレアル高となる展開。

（ウ）月の後半は5.51～5.66 レアル/ドルで推移。新たな社会保障制度アウシリオ・ブラジルにおける給付金額の財源を巡る財政懸念等の高まりでレアル安となり、伯中銀による政策金利引上げ幅拡大の可能性が高まるとレアル高となる展開。

（５）株式市場

（ア）10月の株式市場は103,501～114,648 ポイントで推移。

（イ）月の前半は110,393～114,648 ポイントで推移。エネルギー価格や物価の動向を材料に上下する展開。

（ウ）月の後半は103,501～114,428 で推移。為替と同様、新たな社会保障制度アウシリオ・ブラジルにおける給付金額の財源を巡る財政懸念等の高まりや、伯中銀による政策金利引上げ幅拡大の可能性が高まると景気への影響を懸念して下落する展開。

2. ブラジル政治情勢（10月の出来事）

【内政】

（１）新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会

（ア）10月、新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会（CPI）の証人喚問が行われ、VTCLog社経営者のノナト氏（5日）、レペーロANS国家補助的保健庁（ANS）総裁（6日）、ソウザ・ネット医師（Prevent Senior社経営病院の元勤務医）（7日）、新型コロナウイルス感染症で家族を失った遺族（18日）及びシャヴェス全伯市町村保健局評議会（CONASEMS）技術補佐官（19日）が供述を行った。

（イ）26日、本件CPIは、カリエイロス報告官により提出された最終報告書を採決により承認した（賛成7票、反対4票）。同報告書の最終版は、9件の罪状によりボルソナーロ大統領の起訴を勧告。その他、77名（下院議員、実業

家、記者、医師、閣僚及び元閣僚等)に加え民間企業2社(Precisa Medicamentos社及びVTCLog社)が起訴請求の対象となった。この後、同報告書は、起訴請求対象者の所管にしたがって各当局に送付された。

(2) DEM と PSL の合併

10月6日、DEM(民主党)及びPSL(自由社会党)の党大会が開催され、両党執行部は、両党を合併し、新党「União Brasil」を発足させることを承認した。(注:現在、両党の合併については、選挙高等裁判所(TSE)の承認待ち)

(3) ボルソナーロ大統領による連邦警察に対する干渉疑惑

10月7日、モラエス連邦裁判所(STF)判事は、連邦警察がボルソナーロ大統領に対する事情聴取を30日以内に対面で行うことを決定した。

(4) 新社会保障政策「アウシリオ・ブラジル」の発表

10月20日、連邦政府は、新たな社会保障制度「アウシリオ・ブラジル」における給付金支給を11月より開始し、12月から2022年末までの移行措置的な金額として、世帯当たりの給付金額を最低400リアルとする旨発表した。なお、支給対象世帯数は約1,700万世帯となる由。

(5) 「国家グリーン成長プログラム」の発表

10月25日、大統領府は、「国家グリーン成長プログラム」を開始した旨発表した。大統領府の発表によれば、同プログラムは、環境保全と生活環境の向上を組み合わせ、起業家精神及び持続可能なイノベーションを促進するためのグリーンプロジェクトを支援及び優先順位付けするもの。

【外交】

(1) カフィエロ亜外相の訪伯

10月8日、フランサ外務大臣は、訪伯中のサンティアゴ・カフィエロ亜外相と外相会談を行った。両国外相は、創設30周年を踏まえ、メルコスールのアジェンダを扱い、現議長国の伯によって提案された行動指針が統合プロセスを強化する旨強調した。

(2) 伯コロンビア首脳会談

10月19日、ボルソナーロ大統領は、訪伯中のドゥケ・コロンビア大統領と会談した。両国首脳は、47項目から成る共同声明を発出した上、航空サービス、警察間の連携及び基礎衛生等の分野に関する計7つの協定及び覚書に署

名した。

(3) ボルソナーロ大統領の G20 ローマ・サミット出席

10 日 30～31 日、ボルソナーロ大統領は、G20 ローマ・サミットに出席し、演説において、伯による新型コロナワクチン・キャンペーン、緊急給付金及び構造改革への取組につき強調した。

3. トピックス

(1) 山田大使の将棋イベント参加

10 月 2 日、山田大使は、日系人企業家ネットワーク「REN ブラジル」によって企画された将棋イベントに参加。また、同イベントには、ブラジル将棋ナショナル・クラブ関係者も参加。山田大使は、参加者（学生）に対し、将棋のルールや特徴、日本文化におけるその位置付けについて講演を行い、その後、参加者と実際に対局を実施。本イベントが学生の皆さんにとって将棋のことを学ぶ良い機会となり、皆さんが引き続き将棋を続けていくことを期待している。



講演の様子



参加者との対局



イベント参加者との記念撮影

(2) 濱田総領事の着任（在クリチバ総領事館）

10月15日、濱田圭司・在クリチバ日本国総領事がクリチバ市に着任。

(3) 高拓生アマゾン入植90周年（在マナウス総領事館）

10月19日、荻野総領事はアマゾナス州第2の都市であるパリンチンス市の市議会で開催された高拓生アマゾン入植90周年記念式典に出席した。日本の高等拓殖学校（アマゾンに移住し開拓を指導する人材を育成した高等教育機関）を卒業生した生徒ら（「高拓生」）が1931年にパリンチンスに入植してから今年で90年を迎え、記念式典では、ジュートの栽培を通じてアマゾナス州の経済にも大きく貢献した高拓生と日本人移民に対する感謝と称賛の意が示された。式典には市議会議員、市議会議員、日系社会関係者のほか、現地に貢献した日本人の名前を冠した小学校（リョータ・オヤマ州立学校、タダシ・イノマタ市立学校）の児童も参加し、日本語での歌も披露。また、同地で日本文化の普及や日本人移民の歴史の継承に貢献した「パリンチンス日伯協会」に対して今年度の外務大臣表彰が授与された。

11月4日には、マナウスのアマゾナス州議会において、高拓生アマゾン入植90周年記念特別セッションが開催された。



式典の様子



パリンチンス日伯協会への外務大臣表彰の授与



式典出席者、リョータ・オヤマ州立学校の生徒との記念撮影

(4) 橋場総領事のアスー港・カンポス市訪問（在リオデジャネイロ総領事館）

10月25日から26日にかけて、橋場総領事及び佐々木副領事はリオデジャネイロ州アスー港及びカンポス・ドス・ゴイタカゼス市を訪問。アスー港では、アンドラーデ・プルモロジスティクス社事業開発担当役員らとともに、本年9月に操業したばかりの火力発電所（GNA-I）をはじめ、鉄鉱石ターミナル、コンテナターミナル等の巨大港湾施設を視察。

さらに、カンポス・ドス・ゴイタカゼス市に所在する州立ノルチ・フルミネンセ大学及び私立カンジド・メンデス大学を訪問し、学長や教授陣との意見交換及び各研究所を視察したほか、メリダ同市経済開発・観光長官との懇談を実施した。



リオ州アスー港視察



火力発電所視察



州立ノルチ・フルミネンセ大学訪問



メリダ・カンポス・ドス・ゴイタカゼス市経済開発・観光長官及び私立カンジド・メンデス大

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) 日本文化月間（在クリチバ総領事館）

日時：11月1日～30日

場所：在クリチバ総領事館のFacebook、Instagram、YouTube

内容：11月を通して盆踊り、ポップカルチャー、茶道、和食といった日本文化を紹介する様々なオンラインイベントを実施予定。詳細については在クリチバ総のFacebook及びInstagramを参照。

(イ) オンライン日本酒セミナー（在クリチバ総領事館）

日時：11月19日

場所：在クリチバ総領事館のFacebook、Instagram、YouTube

内容：日本酒専門店店主を講師に迎え、日本酒に関するセミナーをライブ配信する。オンライン試飲会や日本酒に関するクイズ企画を実施予定（共催：兵庫県ブラジル事務所）。

(ウ) 第3回日系友好会（在マナウス総領事館）

日時：11月20日(土)16時～20時、11月21日(日)10時～13時

場所：オンライン

内容：マナウスやサンパウロのほか、北部や北東部の次世代日系人が参加する交流イベント。コロナ禍における最新の活動報告、経験や課題を共有し、今後の活動の一助とするほか、各地の日系人の連携強化を図る。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和3年度第1四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

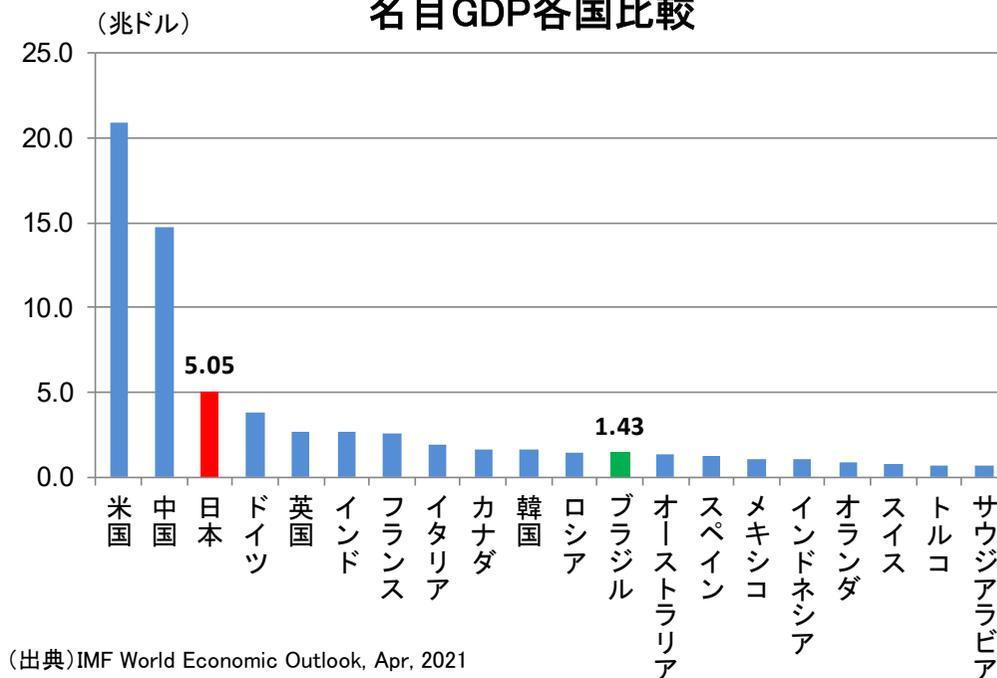
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

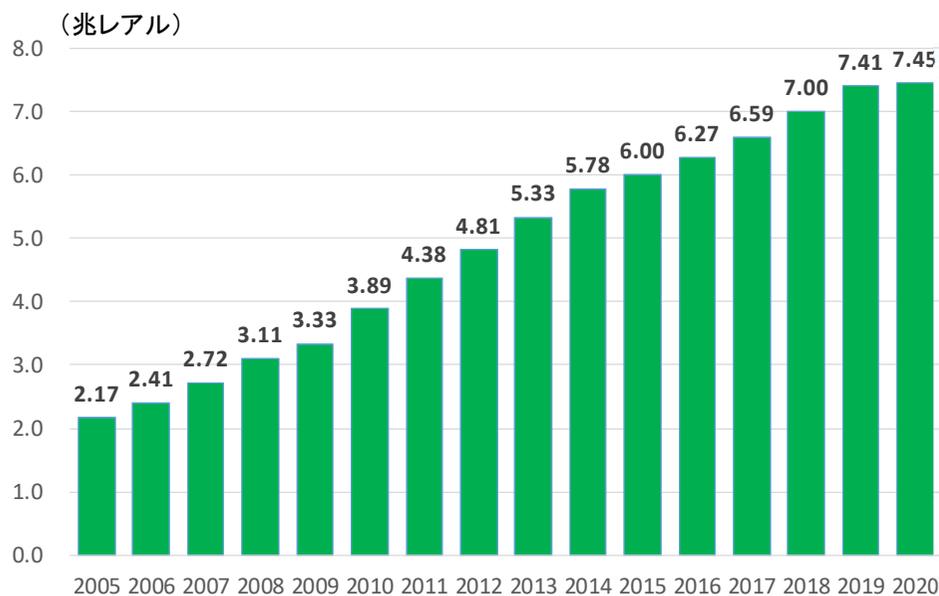
1. 経済構造

1. 人口約2億1,176万人、面積約851万km²(2020年)
2. 世界第12位の経済規模(名目GDP約1兆4,341億ドル(2020年):日本の約28%)。一人当たりGDP(約6,783ドル(2020年))は、日本の約17%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別で見ると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

名目GDP各国比較

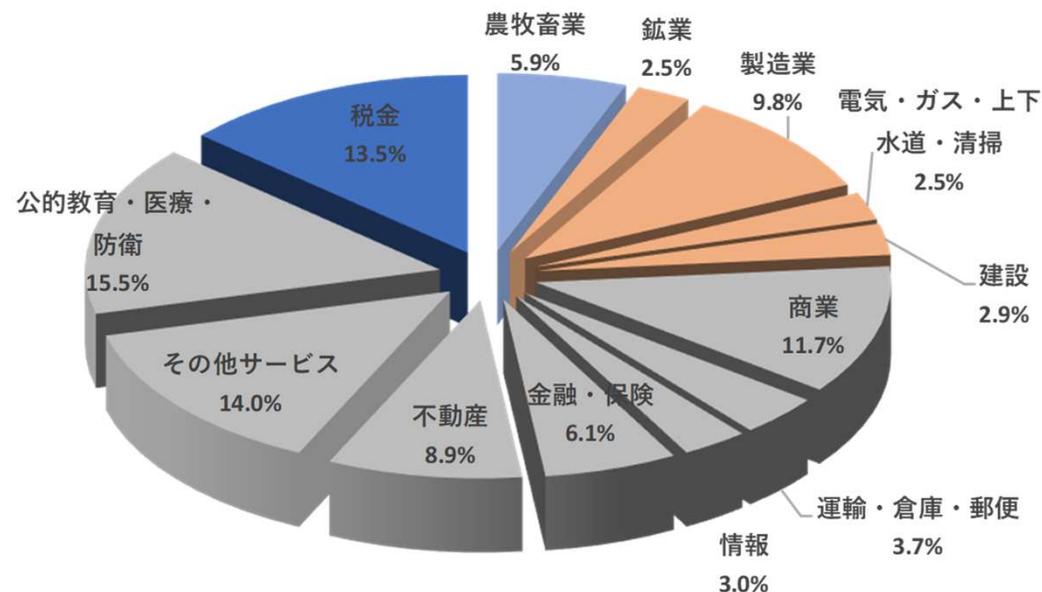


名目GDPの推移



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

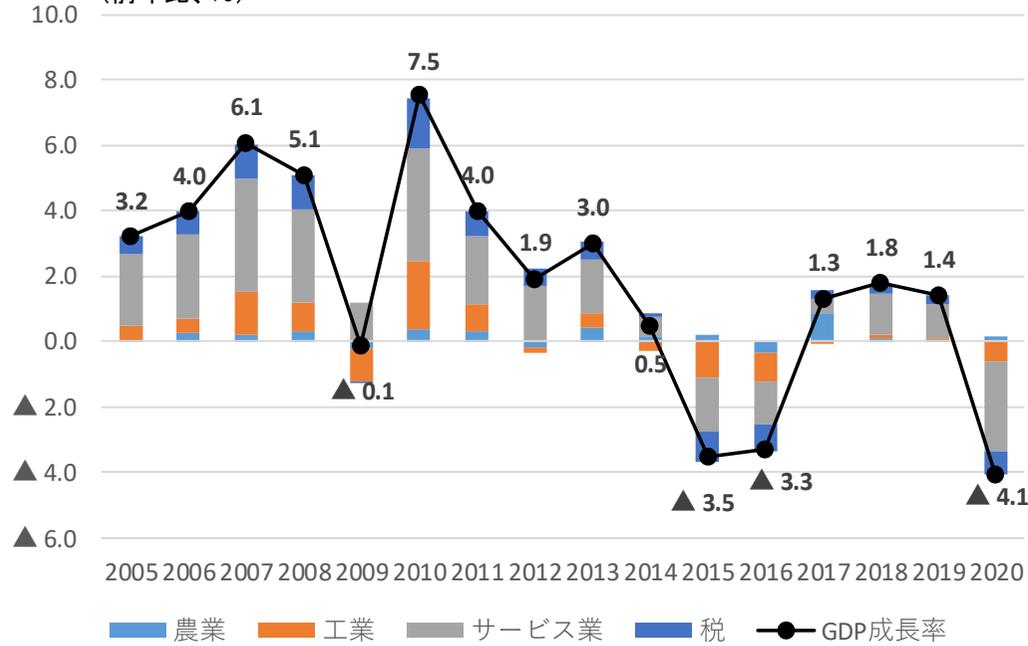
名目GDPの産業別構成比(2020年)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)

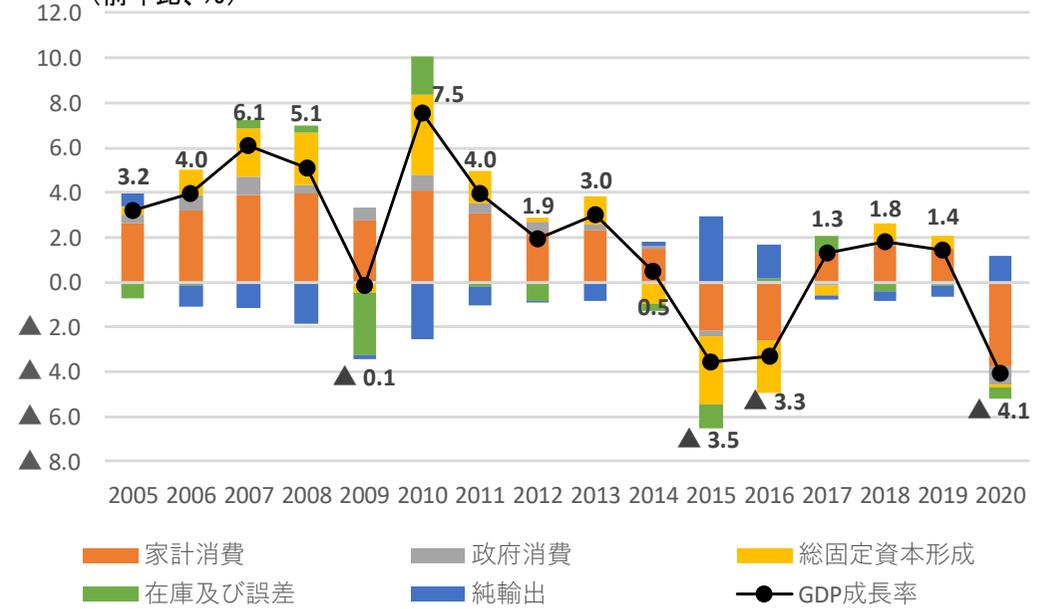
(前年比、%)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)

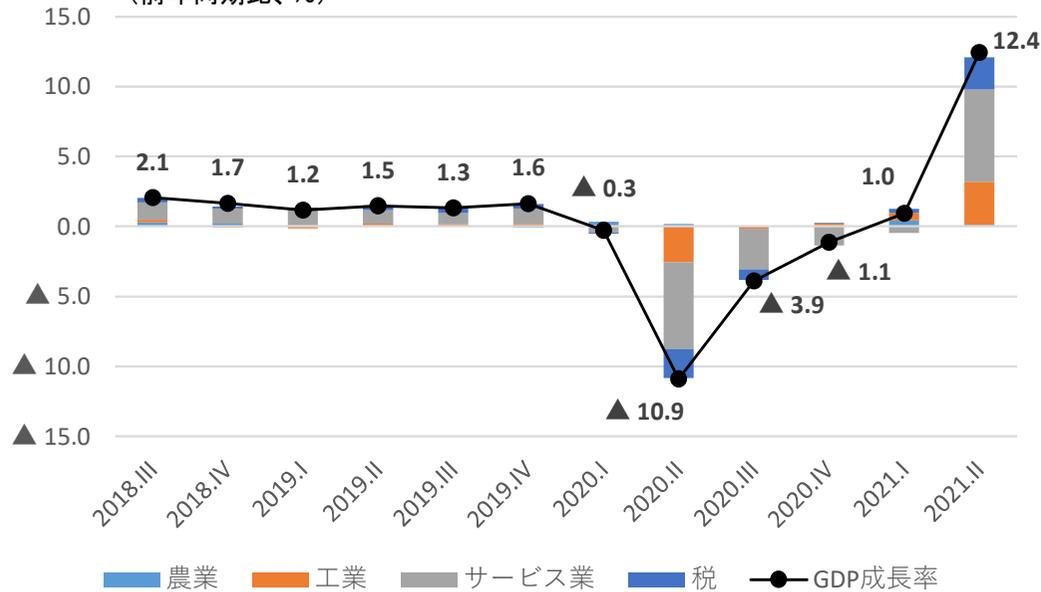


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除いたもの

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

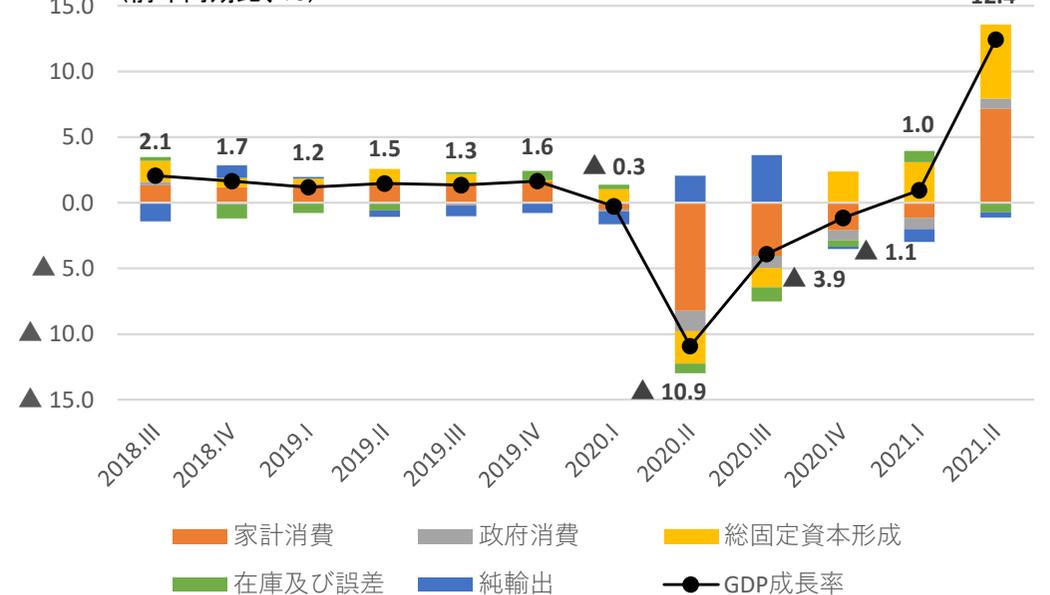
(前年同期比、%)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除いたもの

II. 経済の現状

ブラジル地理統計院 (IBGE) が9月に発表した2021年第2四半期のGDP成長率は、前期比▲0.1% (4四半期ぶりのマイナス成長)、前年同期比+12.4% (2四半期連続のプラス成長) となった。

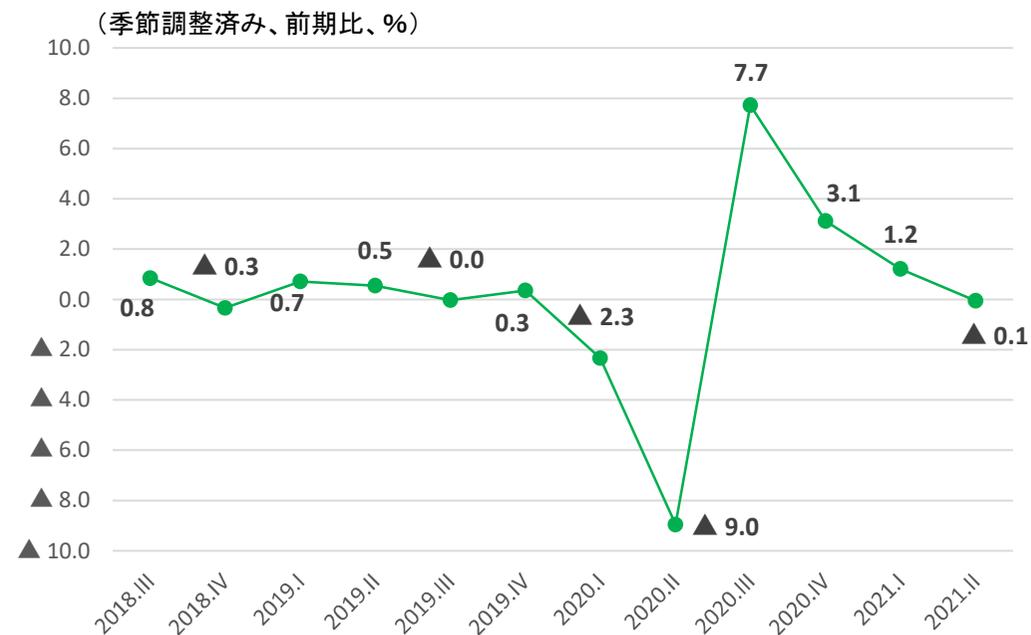
(%、括弧内の数値は寄与度)

		前期比 (季調済)	前年同期比 (原数値)
実質GDP		▲ 0.1	12.4
産業別	農業	▲ 2.8 (▲ 0.2)	1.3 (0.1)
	工業	▲ 0.2 (▲ 0.0)	17.8 (3.1)
	鋳業	5.3 (0.0)	7.0 (0.1)
	製造業	▲ 2.2 (▲ 0.2)	25.8 (2.3)
	電気、ガス、水道	▲ 0.9 (▲ 0.0)	6.7 (0.2)
	建設業	2.7 (0.1)	13.1 (0.6)
	サービス業	0.7 (0.4)	10.8 (6.6)
	商業	0.5 (0.0)	20.9 (1.4)
	運輸、倉庫、郵便	0.1 (0.0)	25.3 (0.6)
	情報、通信	5.6 (0.2)	15.6 (0.7)
	金融、保険	0.3 (0.0)	1.4 (0.2)
不動産	0.4 (0.0)	3.5 (0.4)	
その他サービス業	2.1 (0.2)	16.1 (1.8)	
公共サービス	0.0 (0.0)	4.1 (0.6)	
需要項目別	家計消費	0.0 (0.0)	10.8 (7.1)
	政府消費	0.7 (0.1)	4.2 (0.8)
	総固定資本形成	▲ 3.6 (▲ 0.8)	32.9 (5.6)
	輸出 (財・サービス)	9.4 (1.3)	14.1 (2.2)
	輸入 (財・サービス)	▲ 0.6 (▲ 0.1)	20.2 (2.6)
	純輸出 (財・サービス)	- (1.4)	- (▲ 0.4)

(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

産業別及び需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算したもの。

実質GDP成長率の推移(四半期)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

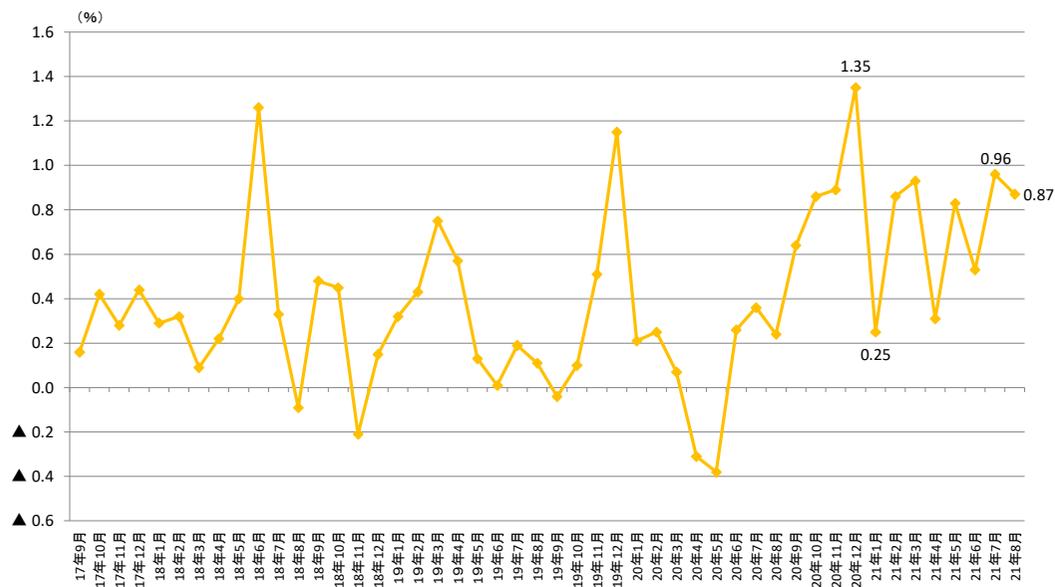
各機関による2021年のGDP成長率予測

世銀	+3.0% (2021年4月)	
IMF	+5.3% (2021年7月)	
伯経済省	+3.5% (2021年5月)	+5.3% (2021年9月)
伯中銀	+4.6% (2021年6月)	+4.7% (2021年9月)
伯中銀 Focus	5.04% (2021年9月24日)	

物価の動向

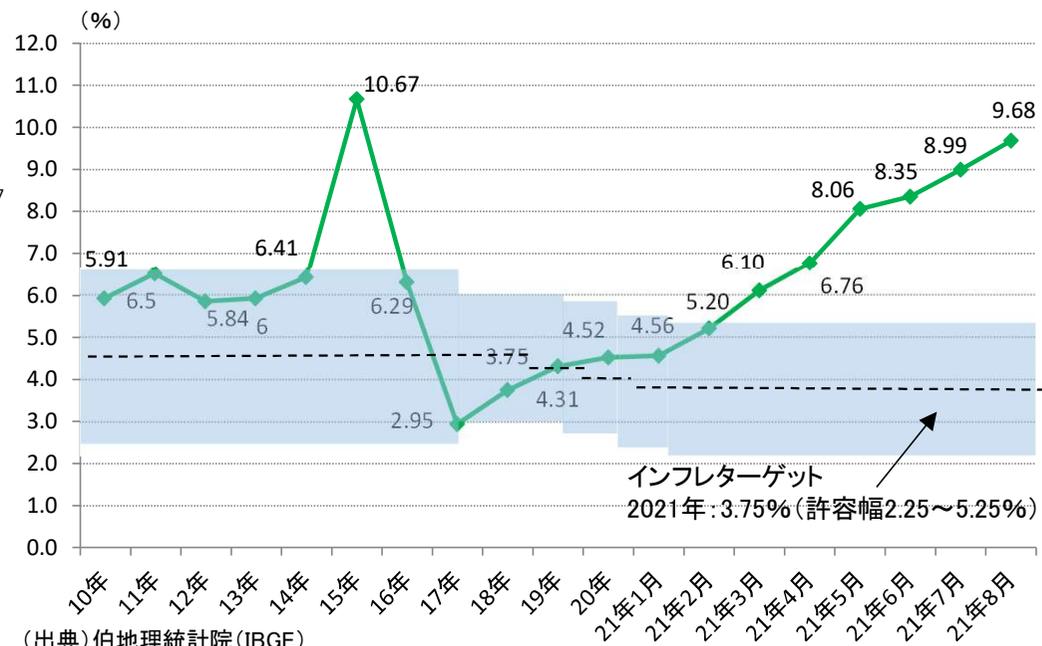
8月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.87%、直近12か月累計では9.68%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



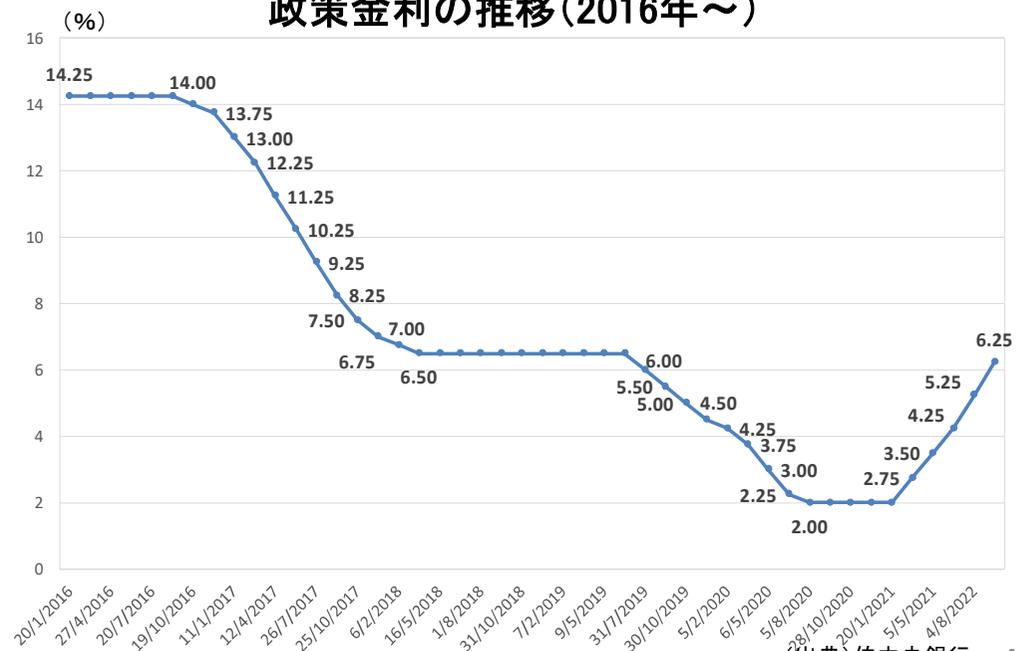
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

政策金利

9月21~22日、伯中央銀行金融政策委員会 (COPOM) が開催され、政策金利 (Selic) を100bp引き上げて6.25%とすることを全会一致で決定した。政策金利の引き上げは3月、5月、6月、8月に引き続き5回連続。

次回会合は10月26~27日に開催。

政策金利の推移(2016年~)

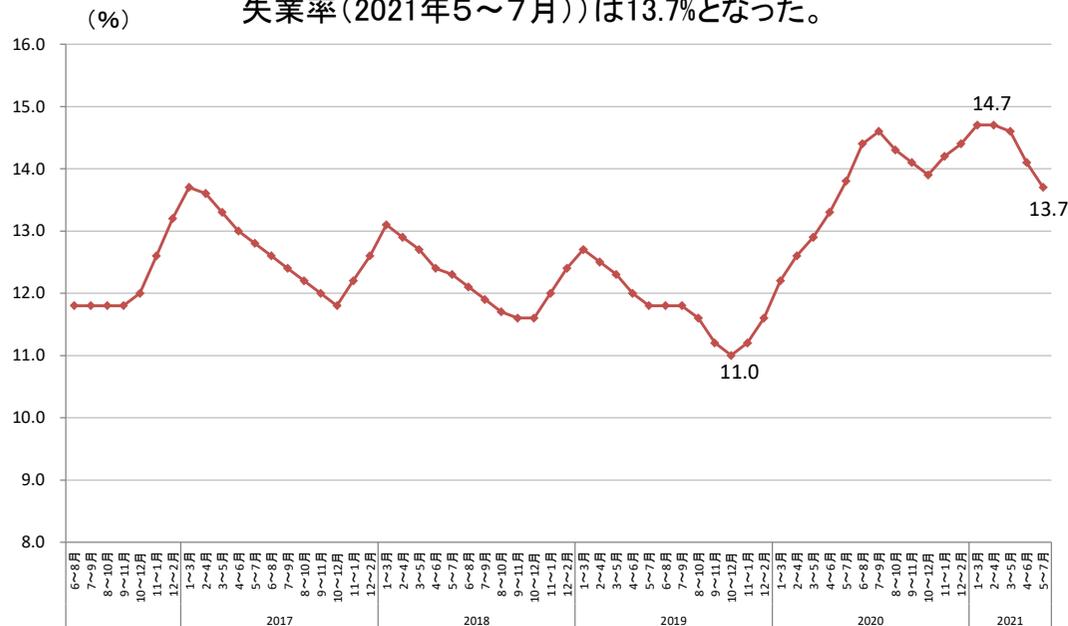


(出典) 伯中央銀行 4

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

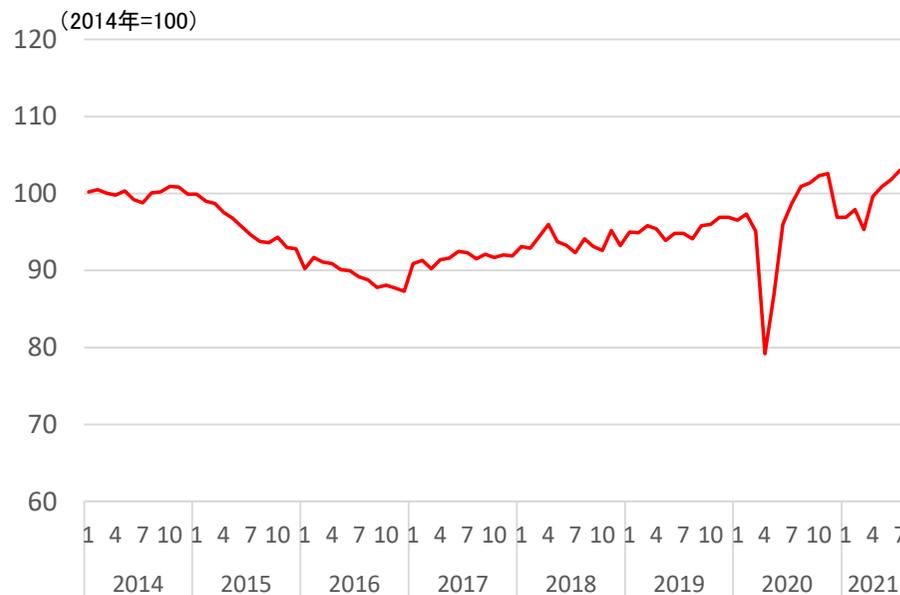
失業率(2021年5~7月)は13.7%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売売上高指数の推移(月次)

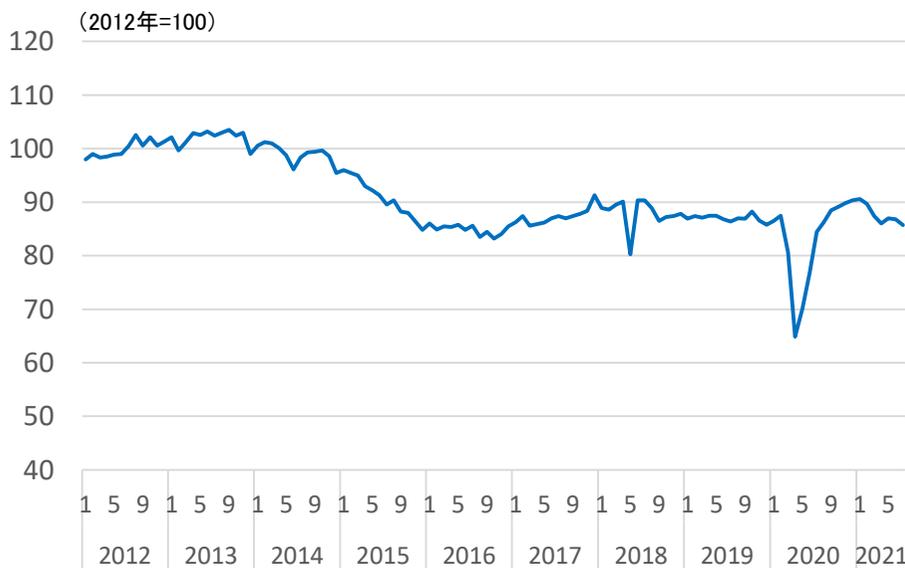
小売売上高(7月)は前月比+1.2%、前年同月比+5.7%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

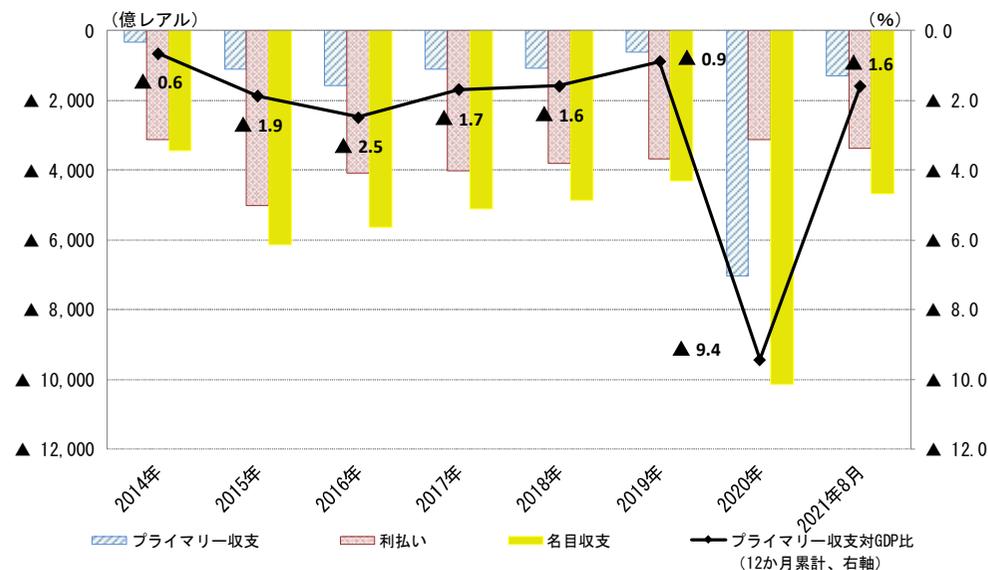
鉱工業生産(7月)は前月比▲1.3%、前年同月比では+1.2%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移

2021年8月のプライマリーバランスは▲1,303億リアル、利払いは▲3,357億リアル、名目収支は▲4,660億リアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

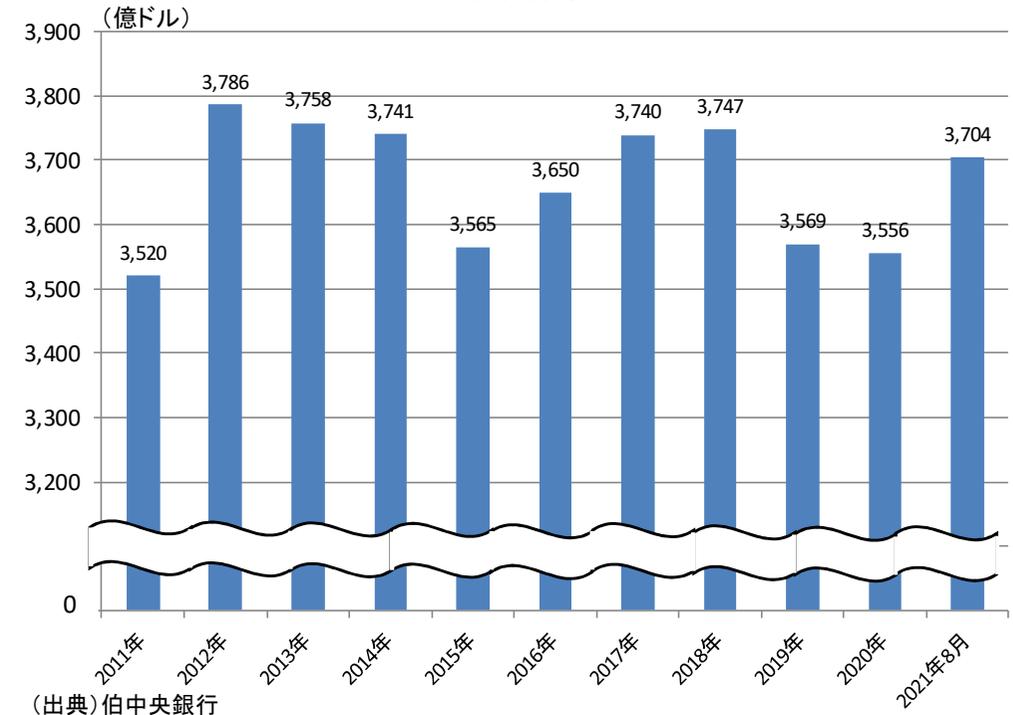
国際収支の動向

国際収支

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年 1-8月
経常収支	▲ 245	▲ 220	▲ 515	▲ 650	▲ 259	▲ 65
貿易収支	445	573	434	265	324	321
サービス収支	▲ 306	▲ 383	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 108
第1次所得収支	▲ 415	▲ 432	▲ 588	▲ 573	▲ 397	▲ 301
第2次所得収支	31	21	▲ 0	12	23	22
資本移転収支	3	4	4	4	41	1
金融収支	▲ 161	▲ 171	▲ 523	▲ 644	▲ 186	▲ 101
直接投資	▲ 596	▲ 475	▲ 761	▲ 464	▲ 481	203
対外直接投資	147	213	20	228	▲ 35	159
対内直接投資	743	689	782	692	447	362
証券投資	200	177	69	192	136	▲ 43
金融派生商品	▲ 10	7	28	17	54	▲ 12
その他投資	152	69	113	▲ 128	247	▲ 17

(出典) 伯中央銀行

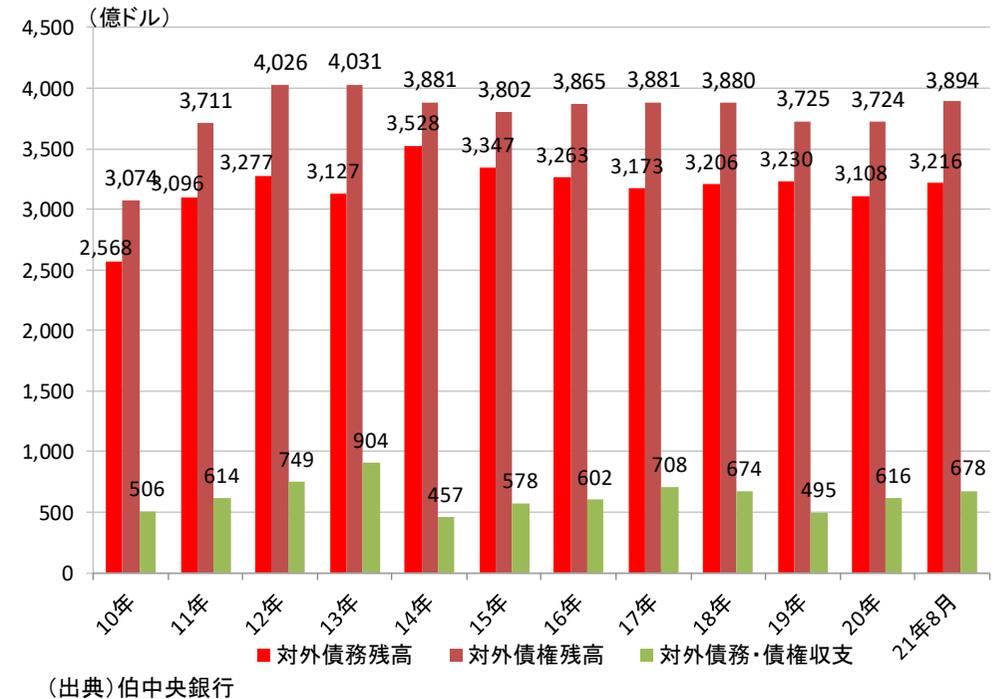
外貨準備高



外国直接投資(資本参加分)流入額



対外債務・債権収支



為替・株価の推移

9月の為替市場は5.16～5.44リアル/ドルで推移。

月の前半は、9月7日の独立記念日で、大統領が最高裁判事を批判する等、政治的緊張の高まりを背景にリアル安となった。同9日に大統領が最高裁判事や連邦議会を攻撃する意図はなかったとの内容を含む声明を発表したことで、政治的緊張は落ち着きを取り戻した。その後は、伯中央銀行の金融政策の見通し等を材料に上下する展開となった。

月の後半は、中国不動産開発会社の債務不履行を巡る懸念を背景としたリスクオフの動きや、米国金融緩和の縮小観測の高まりを材料にリアル安の展開となった。

為替の推移(対米ドル)



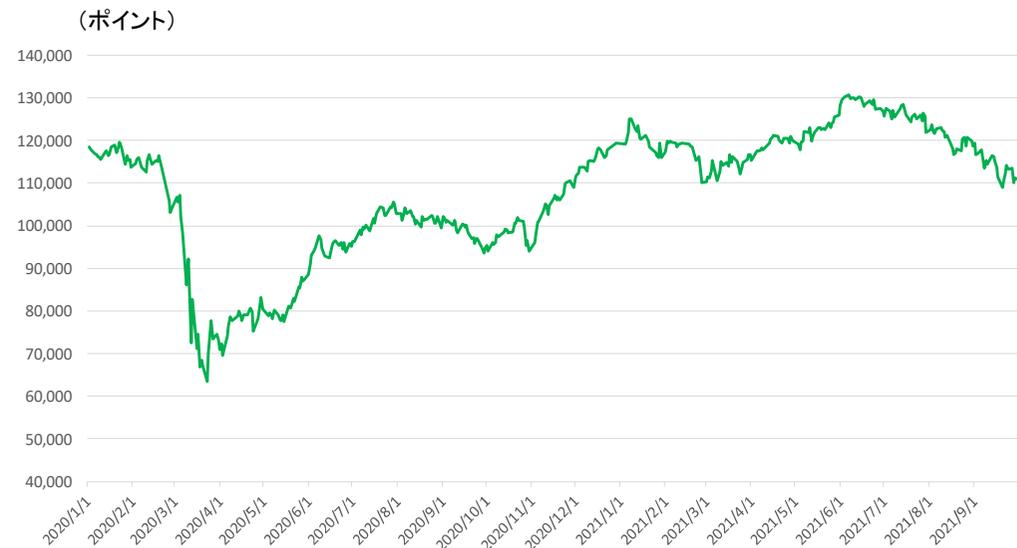
(出典) Bloomberg

9月の株式市場は108,844～119,396ポイントで推移。

月の前半は、為替と同様に、独立記念日における大統領の発言による政治的緊張の高まりを背景に下落するも、大統領が声明の発表したことで回復。その後は資源価格の動向を材料に上下する展開となった。

月の後半は、中国不動産開発会社の債務不履行を巡る懸念等を材料に下落傾向となる展開となった。

株価指数 (Ibovespa) の推移



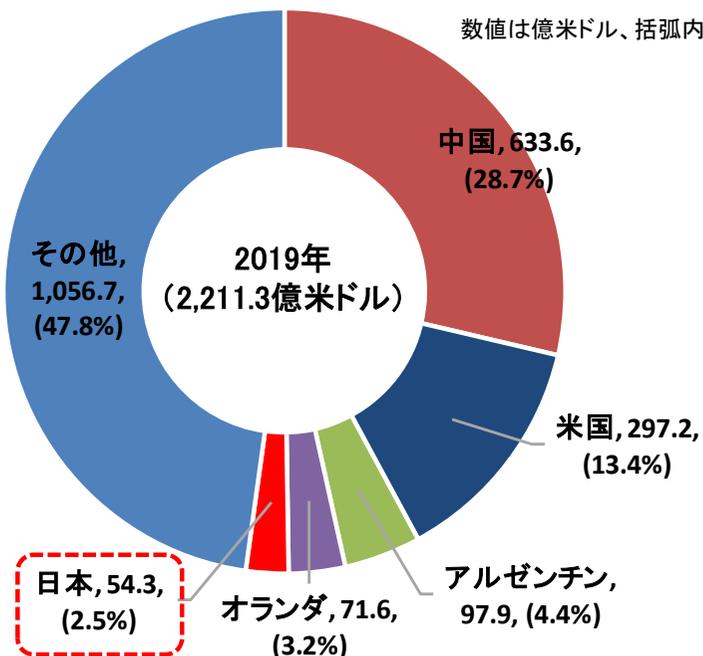
(出典) B3

Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2020年においては、日本は貿易相手国としては輸出、輸入ともに上位6位となっている。

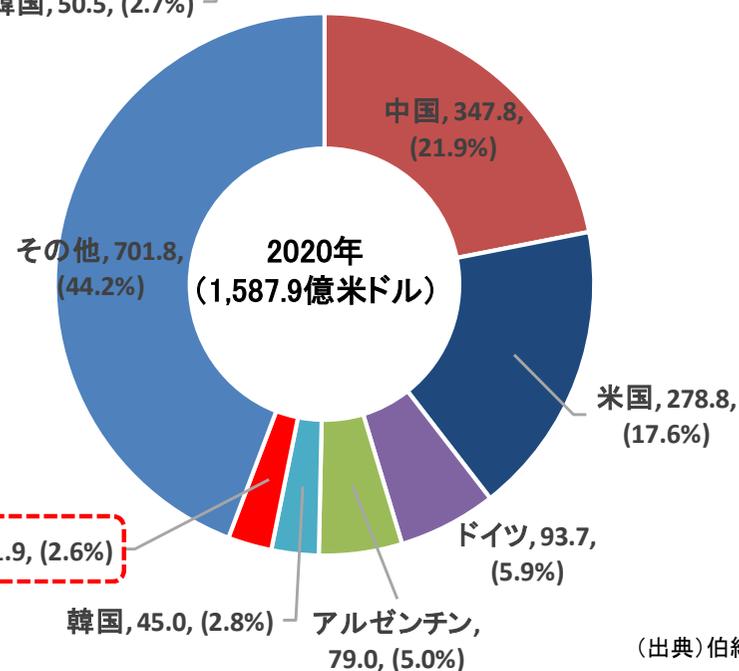
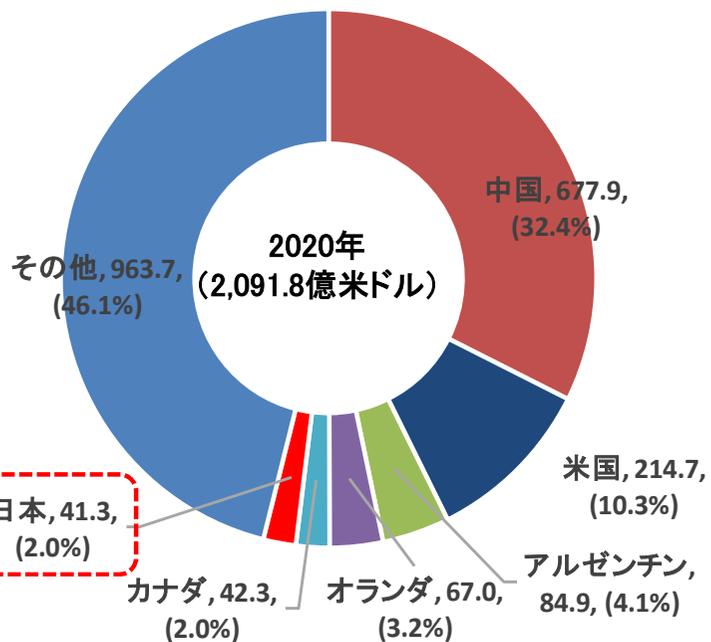
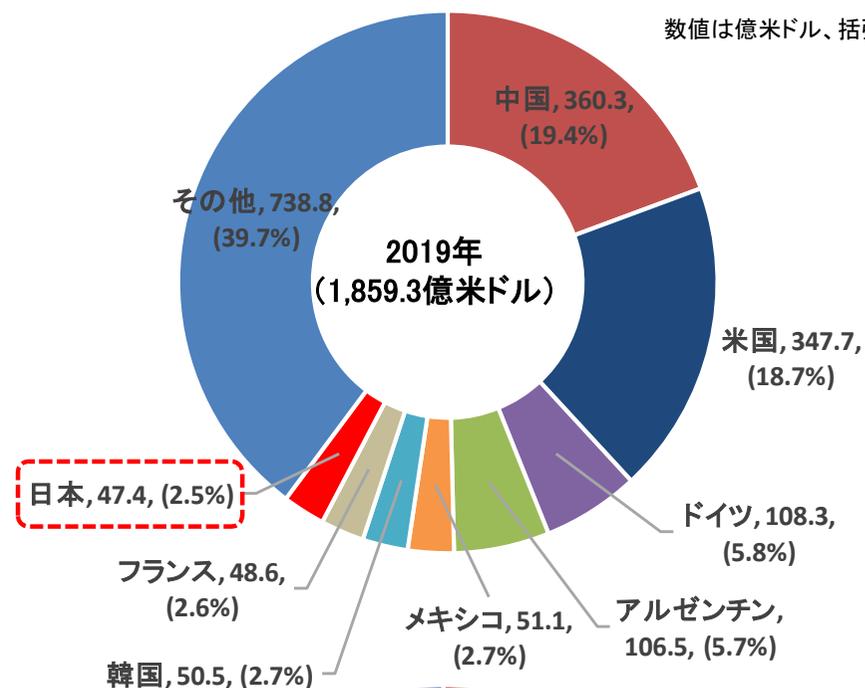
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



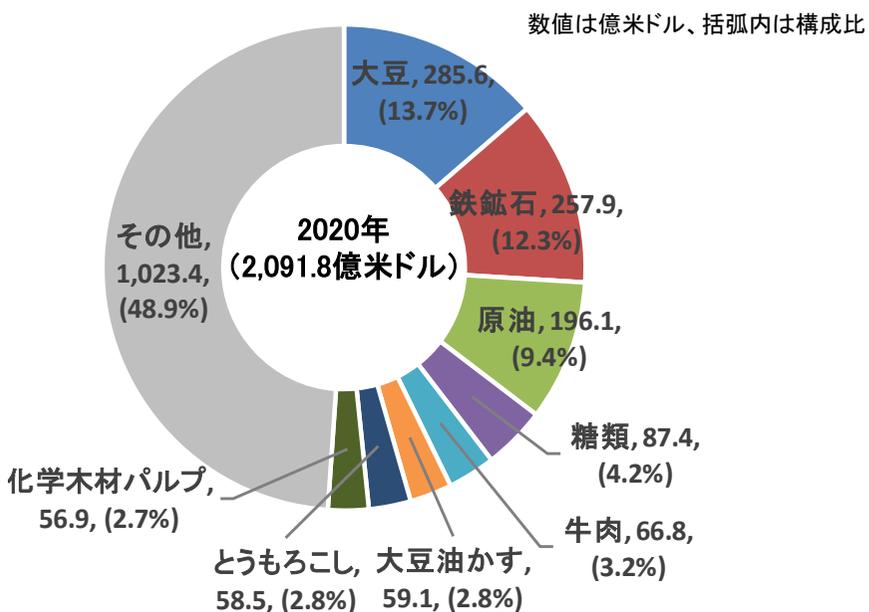
輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比

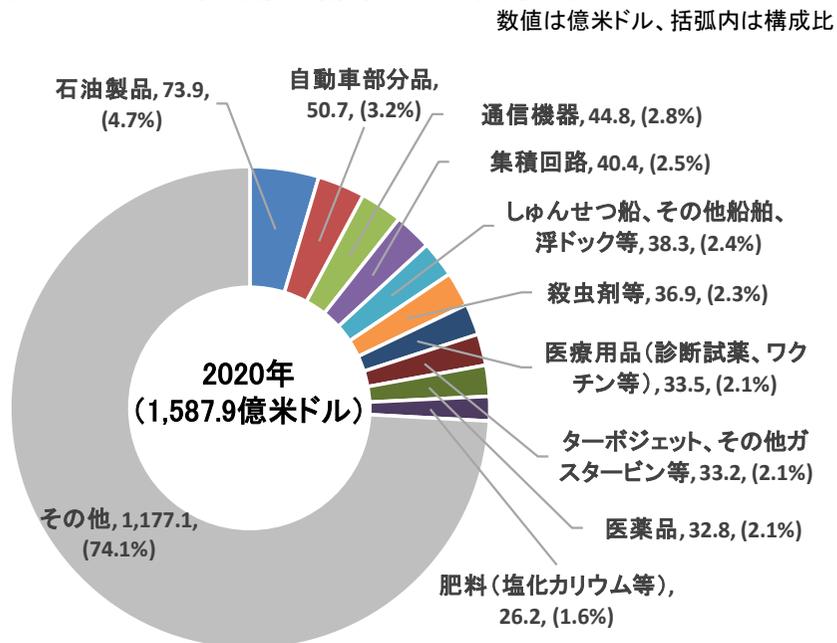


主要輸出品目は食品(大豆、肉類、糖類等)、資源(鉄鋼石、原油等)。主要輸入品目は石油製品、自動車部分品を中心に、電気機器や医療用品など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
合計	285.6	100.0
① 中国	209.0	73.2
② オランダ	11.1	3.9
③ スペイン	9.6	3.3
④ タイ	9.1	3.2
⑤ トルコ	7.2	2.5

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
合計	196.1	100.0
① 中国	113.5	57.8
② 米国	13.6	6.9
③ インド	12.2	6.2
④ スイス	10.4	5.3
⑤ ポルトガル	9.1	4.6

【鉄鋼石】

	億米ドル	構成比(%)
合計	257.9	100.0
① 中国	185.2	71.8
② マレーシア	16.9	6.6
③ 日本	8.9	3.5
④ オマーン	5.8	2.3
⑤ オランダ	5.7	2.2

【糖類】

	億米ドル	構成比(%)
合計	87.4	100.0
① 中国	12.9	14.8
② アルジェリア	6.7	7.7
③ バングラデシュ	6.3	7.2
④ インド	4.8	5.5
⑤ インドネシア	4.7	5.3

【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	73.9	100.0
① 米国	53.2	72.0
② スペイン	3.4	4.7
③ インド	2.6	3.5
④ オランダ	2.5	3.3
⑤ UAE	1.6	2.2

【通信機器】

	億米ドル	構成比(%)
合計	44.8	100.0
① 中国	28.1	62.6
② ベトナム	7.9	17.6
③ 米国	2.1	4.6
④ 香港	1.2	2.8
⑤ メキシコ	1.2	2.6

【自動車部分品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	50.7	100.0
① 日本	6.2	12.2
② 中国	6.0	11.9
③ ドイツ	5.4	10.6
④ メキシコ	5.3	10.5
⑤ 韓国	4.9	9.7

【集積回路】

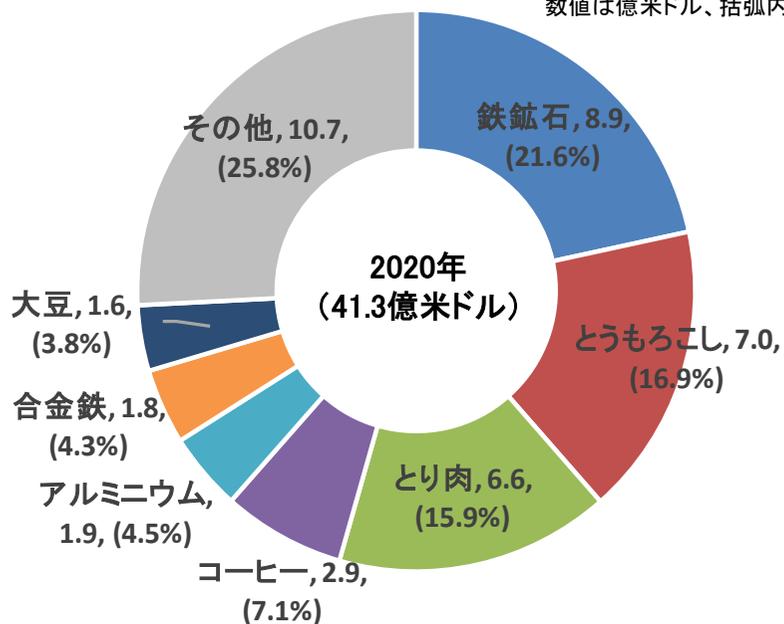
	億米ドル	構成比(%)
合計	40.4	100.0
① 韓国	10.2	25.3
② 中国	9.4	23.3
③ 台湾	8.4	20.9
④ ベトナム	4.7	11.7
⑤ マレーシア	2.4	5.9

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（大豆、トウモロコシ、肉類、コーヒー等）、主要輸入品目は自動車関連（部分品、完成車）が中心となっている。

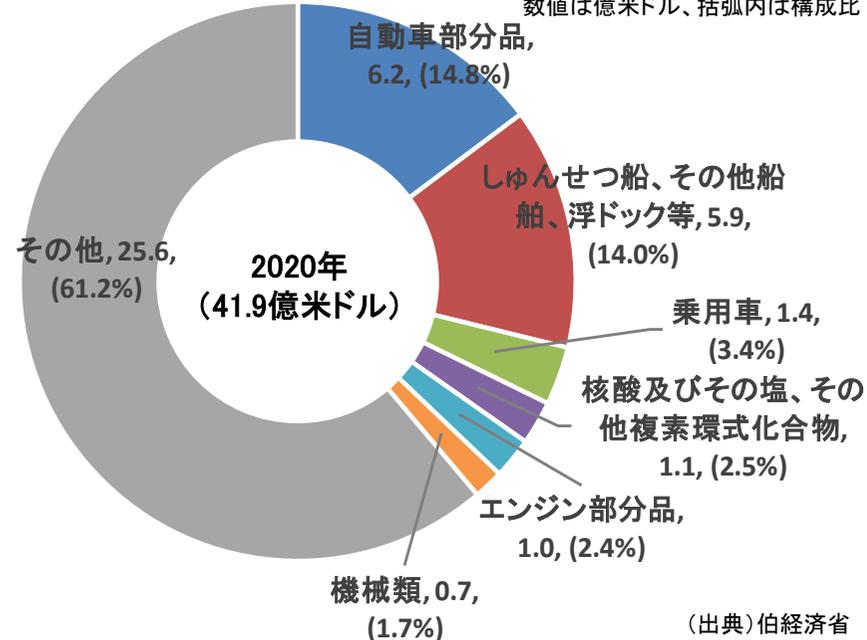
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) 伯経済省

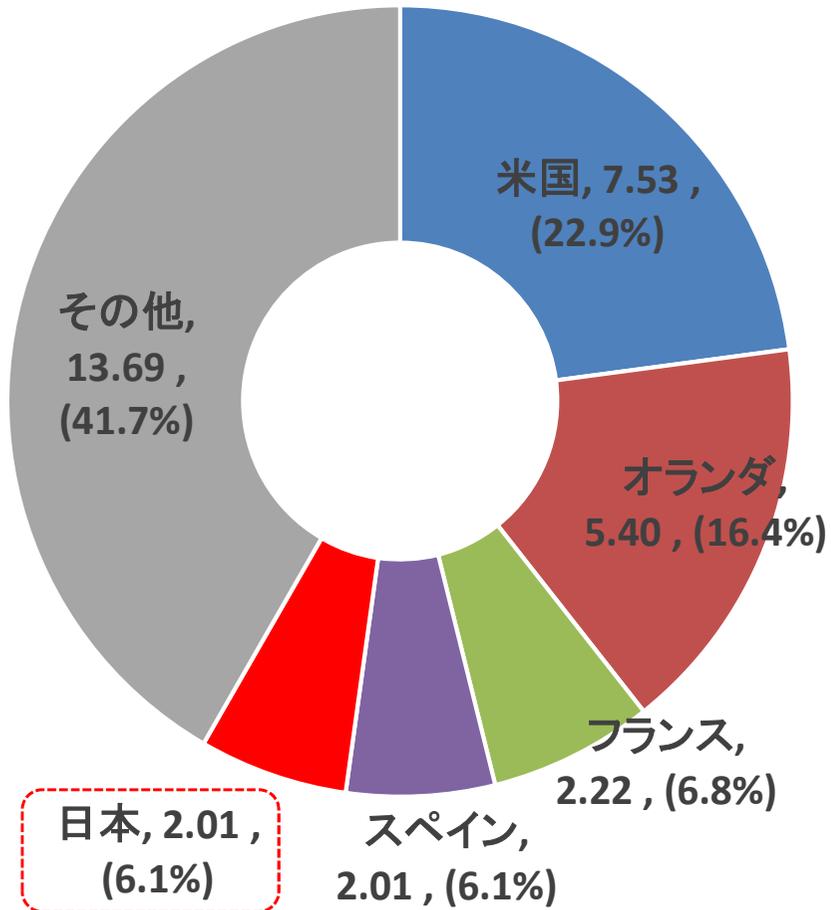
ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2020年)

品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)
【鉄鉱石】			【とうもろこし】			【とり肉】			【コーヒー】		
合計	10,308.0	100.0	合計	3,515.9	100.0	合計	1,216.5	100.0	合計	1,257.8	100.0
① 豪州	5,382.6	52.2	① 米国	2,245.6	63.9	① <u>ブラジル</u>	791.1	65.0	① <u>ブラジル</u>	326.6	26.0
② <u>ブラジル</u>	3,052.2	29.6	② <u>ブラジル</u>	1,204.9	34.3	② タイ	372.6	30.6	② コロンビア	228.4	18.2
③ カナダ	738.4	7.2	③ 南ア共和国	31.1	0.9	③ 米国	25.1	2.1	③ ベトナム	181.4	14.4
④ 南ア共和国	371.0	3.6	④ ロシア	16.4	0.5	④ ハンガリー	9.8	0.8	④ グアテマラ	106.6	8.5
⑤ インド	208.8	2.0	⑤ フランス	7.5	0.2	⑤ フランス	9.2	0.8	⑤ エチオピア	81.5	6.5
【アルミニウム】			【合金鉄】			【大豆】					
合計	3,825.1	100.0	合計	1,806.2	100.0	合計	1,591.6	100.0			
① ロシア	728.2	19.0	① カザフスタン	385.1	21.3	① 米国	1,158.3	72.8			
② 豪州	633.5	16.6	② <u>ブラジル</u>	236.3	13.1	② カナダ	221.4	13.9			
③ UAE	527.3	13.8	③ ロシア	191.0	10.6	③ <u>ブラジル</u>	184.6	11.6			
④ NZ	356.3	9.3	④ 南ア共和国	186.0	10.3	④ 中国	24.6	1.5			
⑤ 中国	269.5	7.0	⑤ インド	147.3	8.2	⑤ ロシア	2.3	0.1			
⑥ <u>ブラジル</u>	226.8	5.9									

※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェロアロイ)7202、大豆1201

IV. 日伯投資

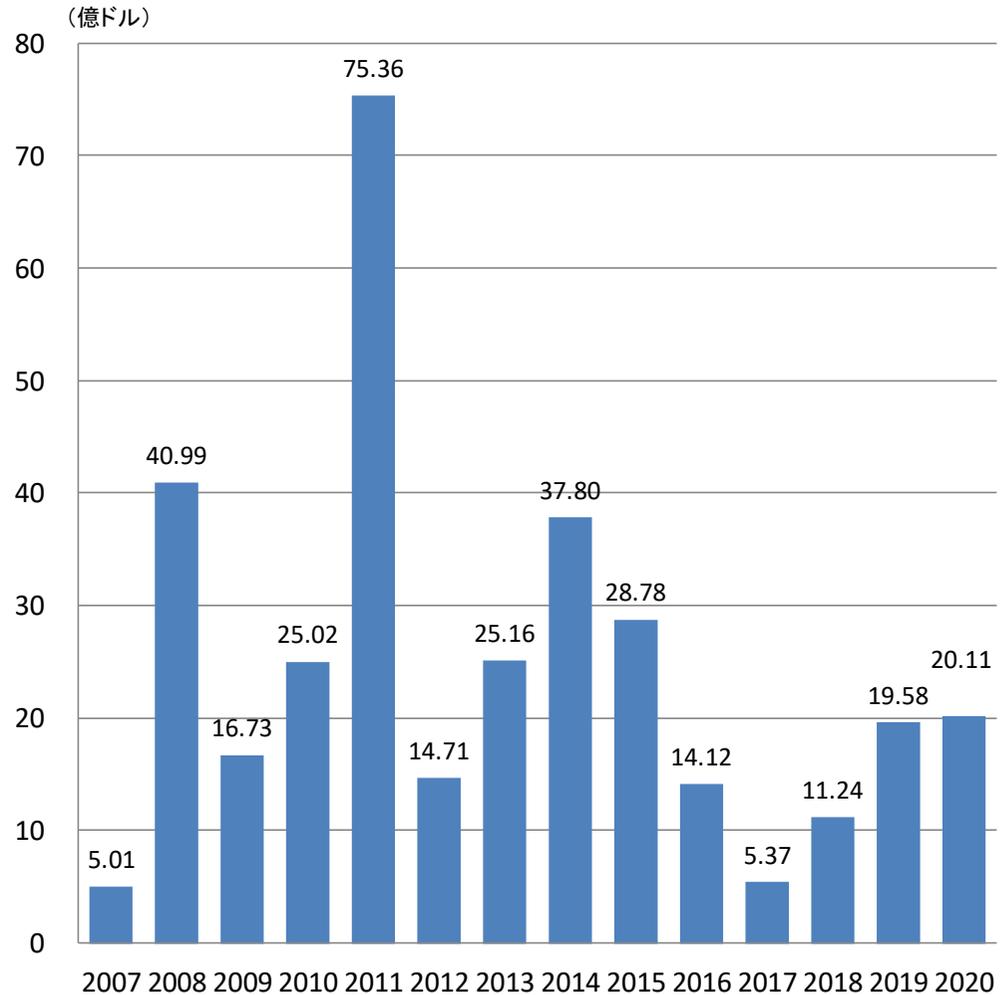
対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比
総額328.69億ドル(2020年)



(出典) 伯中央銀行

※ 中国:0.44%。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、
実際よりも少ない数値となっている。

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移



(出典) 伯中央銀行